事業名	誰もが参加できるインクルーシブ文化事業の創出

セールスポイント	・福祉や教育、地域支援団体等と連携した包括的なアプローチにより、芸術・アートを通じた「子どもたちの体験格差」解消に取り組む ・鑑賞型イベントだけではなく、参加型・創造型のワークショップを実施予定

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

・令和7年度に策定した豊島区基本構想・基本計画において、障害者・子ども・外国人など、多様な背景を持つすべての人々が文化に親しむ機会を提供する方針を示している。

・子どもたちの「体験格差」が全国的な社会課題となっており、文化的な学びや表現活動の機会を得にくい家庭環境の子どもが増えている。

2. 目的

・こども大綱や子どもの貧困解消法の趣旨を踏まえ、経済事情や家族構成に関わらず、すべての家庭の子どもや親子が文化に親しむことができる機会を提供し、体験格差の解消を図る。

3. 内容

・令和8年度から2年間にわたり、すべての子どもスキップ22施設（令和8年度は11施設）で新たな文化体験事業を実施する。

・また、各地域ではアーティストや地域との交流ができる参加型・創造型のワークショップなどを通じて、子どもたちにとって「かけがえのない体験」を創出する。事業実施に際しては、民生・児童委員やこども食堂などを通じて、言葉の壁や障害、経済的な事情等を理由に、文化に接する機会の少ない家庭環境の子どもの参加を促すとともに、会場への引率を含めたサポートも行うことで、参加しやすい環境を整えていく。

4. 今後のスケジュール

・令和8年度上半期～　関係部署、団体との調整

・令和8年度下半期～　事業実施

事 業 費	1,000万円	うち新拡分事業費	1,000万円